



地ばんが悪い（やわらかい）所は、地震のとき危険なの

地ばんのやわらかい土地は危険

地震による建物などの被害は、地ばんがかたい所と、やわらかい所では、だいぶちがいます。同じ地域でも、海岸のうめ立て地や、昔、川や水田だった所などは、地ばんがやわらかくなっています。

地震が起こったとき、地ばんのやわらかい所は、地ばんのかたい所に比べて、大きくゆれます。以前に、東京で調べたときの、ようすによると、同じ大きさの地震でも、地ばんがやわらかい所では、ゆれの大きさが、3倍ぐらいになることがわかりました。それに、ゆれている時間も、長くなります。そのために、やわらかい地ばんの所では、家などがたおれやすく、地震の被害が大きくなります。

丘陵部分は地ばんがかたい

古い時代にできた土地ほど、しっかりしていて、地ばんがかたくなっています。ふつう丘陵部分の土地は、かたい地ばんになっています。

新しく、家を建てるときなどに、宅地造成をすることがあります。このとき、丘陵部分をけずり、その土で低いさわやぬま、湿地などをうめ立てて、造成したりします。うめ立てた所は、ブルドーザーなどで、固めてありますが、自然の土地に比べて、地ばんはやわらかくなっています。

このような土地に、地震が起こると、うめ立てた造成地はゆれが大きく、丘陵部分との境目に、割れ目が入ったりします。（監修・国司 真）

